

独立行政法人国立女性教育会館の平成 28 年度文部科学省業務実績評価の結果を踏まえた業務運営の改善等への主要な反映状況

中期計画項目	平成 28 年度業務実績評価における主要な指摘等	左記の指摘等を踏まえた平成 29、30 年度の改善の状況
<p>II 業務運営の効率化に関する事項 2 人件費・管理費等の適正化</p>	<p>・人件費・管理費等の適正化における業務経費効率化については未達成。適宜経費の点検を行い、計画的な経費の執行が求められる。</p>	<p>入札の適正な執行、間接業務の共同実施など効率的な業務運営に努め、平成 29 年度は、一般管理費は平成 27 年度比 6%以上、業務経費は平成 27 年度比 2%以上削減、平成 30 年度は、一般管理費は平成 27 年度比 9%以上、業務経費は平成 27 年度比 3%以上という年度目標を達成した。</p>
<p>IV その他業務運営に関する重要事項 5 PFI 事業の適切な実施のための監視・協力</p>	<p>・施設全体利用率の向上のため、課題のある宿泊施設利用率について、PFI 事業者と更なる協力的体制のもとサービス水準向上や広報活動に努めること。</p>	<p>①PFI 事業者が様々な団体・機関と連携し、主催事業と連動した宿泊プランやインターネットエージェントを活用した利用申込を導入することにより宿泊者の獲得が図られた。また、県内に限らず近隣他県の大学や企業、観光協会等を訪問することにより、新しい利用団体の獲得に繋がった。 こうした事業者への適切なモニタリングに基づく広報努力の結果、平成 29 年度は 28 年度と比して利用率が着実に増加した。 宿泊施設利用率はほぼ目標値を達成し、研修施設利用率、施設全体利用率が目標値を超えることができた。 また、平成 30 年度は施設全体利用率、宿泊施設利用率、研修施設利用率が目標値を達成した。 ②この結果、平成 29 年度は、全体施設利用率は 50.9%、平成 30 年度は、全体施設利用率は 53.6%となった。</p>